



平成31年 1月 4日

第314号

〔発行〕 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長 プレス工業株式会社 藤沢工場
編集 藤沢支部広報委員会
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>



平成三十一年元旦

「指差し唱和 本部提供」

〔平成30年度 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン〕

働く人の安全と健康が確保できる職場を目指し
力強く活動を推進しよう！



年頭にあたって

(公社)神奈川県労働安全衛生協会藤沢支部

支部長 浦上 浩和



新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

会員事業所の皆様におかれましては日頃より藤沢支部事業活動にご尽力いただいております事に感謝申し上げます。また、ご指導、ご支援をいただいている藤沢労働基準監督署はじめ関係団体の皆様方には厚く御礼申し上げます。

平成31年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

藤沢支部のスローガンは「働く人の安全と健康が確保できる職場を目指し力強く活動を推進しよう！」です。事業活動の基本となる安全、健康を確保するため、より一層の取り組みを進めていただく様お願いいたします。

さて、昨年10月に横浜で25年ぶりに全国産業安全衛生大会が開催されました。藤沢支部としての参加申し込み数は目標を達成し、地元組織として分科会の運営も担い無事終了することができました。これもひとえに会員事業所の皆様方のご支援ご協力の賜物です。心から感謝いたします。今回の大会で発表された事例等を参考に労働災害防止等の活動を推進していただくようお願いいたします。

昨年、「働き方改革関連法」が成立し、本年4月より順次施行されます。残業時間の上限規制、年次有給休暇の一部義務化、産業医・産業保健

機能の強化等に対応する必要があります。

また、昨年より第13次労働災害防止計画（平成30年度から5年間）がスタートしています。全体目標は死亡者数15%以上減少、死傷者数5%以上減少です。重点施策は死亡災害の撲滅対策、過労死防止等労働者の健康確保対策、就業構造の変化及び働き方の多様化へ対応した対策、化学物質等による健康障害防止対策、企業・業界単位での安全衛生の取り組み強化等の推進です。本労働災害防止計画が目指す「一人の被災者も出さないという基本理念の下、働く方々の一人一人がより良い将来の展望を持ち得るような社会」の実現に貢献できるよう、引き続き支部活動に取り組んでまいります。特に藤沢支部の各委員会活動は会員事業所の皆様方のご理解と積極的な参画により成果を上げております。引き続き活発な活動を展開願います。

本年も藤沢労働基準監督署並びに関係団体のご指導ご支援を賜りながら支部活動の充実を図ってまいりますので会員事業所の皆様にはご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに本年が会員皆様方にとって素晴らしい年となります事と、会員事業所の益々の発展をご祈念申し上げまして新年の挨拶といたします。ご安全に。

経営者セミナー・賀詞交歓会開催のご案内

開催日時：平成31年1月17日（木）

場 所：藤沢商工会議所（ミナパーク）6階

経営者セミナー：14：00～16：55 多目的ホール1、2

基調講演：テーマ「働き方改革について」

神奈川県労働局 労働基準部長 久富 康生氏

特別講演：テーマ「鎌倉大仏殿はなかった」～次の関東地震を予測しその対策を考える～

国立極地研究所名誉教授

総合研究大学院大学名誉教授 理学博士 神沼 克伊氏

賀詞交歓会：17：00～18：30 多目的ホール3

参加費：【経営者セミナーのみ：無料】、【賀詞交歓会：7,000円／人】



新年を迎えて

藤沢労働基準監督署

署長 小沼 みち子



新年あけましておめでとうございます。

神奈川労務安全衛生協会藤沢支部会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

平成31年、平成も終わり、新元号を迎える年となりました。

昨年、いわゆる働き方改革関連法案、正式名称「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が施行され、関係法律が順次施行されます。

大きくくりの働き方改革としては、すでに各企業の皆様の様々なアイデアを形にされていらっしゃるものと存じます。

法律の改正に伴い、やっと見えてきました詳細の政省令に基づき、各事業場におかれましては、着々と体制の整備や手続準備等が本格的に始められていることと思います。猶予措置等が設けられている事項もございますが、今年は、特に実務的な面で、監督署も会員皆様のよりお力になるべき年としなければという思いであります。

皆様がいい人材の採用のため、風通しの良い職場とするため、一人一人が様々なライフワークを持ちつつ、職場で働くため、その環境改善のため夢を持って、働き方改革に係る業務が行えることを願ってやみません。

「働き方実行計画」の中でも、労働時間法制の見直しとして、労働基準法、労働安全衛生法、労働時間等設定改善法の改正により、①残業時

間の上限規制②年5日間の年次有給休暇の取得③労働時間の客観的な把握④「フレックスタイム制の拡充⑤産業医・産業保健機能の強化⑥月60時間超えの残業の割増賃金率引上げ⑦「勤務間インターバル」制度の導入促進⑧「高度プロフェッショナル制度」の創設がなされます。

これらの制度の見直しに合わせて、各企業におかれては、職場の管理職の意識改革・非効率な業務のプロセスの見直し、取引慣行の改善(適正な納期設定など)を通じて長時間労働をなくしていくことが必要とされています。

もう一つのポイントとして、どのような雇用形態を選択しても、待遇に納得して働き続けられるようにすることで、多様で柔軟な働き方を「選択できる」ようにすることを目指します。

「均衡待遇規定」や「均等待遇規定」が整備され、これから関係者の意見や国会審議を踏まえ正式に示される「同一労働同一賃金ガイドライン」にも留意して対処していくことが必要となります。

慌ただしい年になるかと思いますが、貴会及び会員事業場の皆様の益々の御発展を祈念いたしまして新年の御挨拶とさせていただきます。



〔当面の支部行事予定〕

○粉じん作業特別教育第2回	1月24日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育第1回	1月28日(月)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○KYT講習第2回	2月5日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育第2回	2月6日(水)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○健康づくり研究会	2月7日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○職長教育第5回	2月13日(水)・14日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育第3回	2月18日(月)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○労務管理実務研修	2月21日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育第4回	2月25日(月)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○フォークリフト安全衛生教育	2月28日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室

安・健・快 雑感

(株)湘南ユニテック 阿諏訪 直樹

9月末頃より腰痛(椎間板ヘルニア)に悩まされています。

痛み止めの薬を処方してもらう為、整形外科に通院した際、2年毎に通院していますね。と、医師より言われました。思い当たるところはありませんが、2年経つ前に腰痛のケアが必要な思いました。

最近、処方された薬は飲まずに、中国式整体に週1回通い始めました。まだ、効果は確認できませんが、良い方向になればと思っています。出費は、かなり大きいです。

皆様に置かれましては、仕事は『安全第一』身体は『健康第一』で、頑張ってください。

第77回 全国産業安全衛生大会開催される

第77回全国産業安全衛生大会が横浜市で昨年10月17日から19日までの3日間開催され、全国から11,200人が参加しました。昨年は、第13次労働災害防止計画の初年度であるため、「安全・健康の決意新たに トップの率先 現場の改善」がテーマとなりました。

初日は、横浜アリーナで総合集会が行われ、厚生労働省や神奈川県知事・横浜市長など来賓の方々からの祝辞、平成30年度緑十字賞表彰式(受賞者100名)、厚生労働省の講演や、特別講演として経済学者の伊藤元重氏より「日本の未来-働き方改革、高齢化、技術革新」と題して、日本経済や労働環境の今後の見通しなどをご講演頂きました。

翌日からの2日間は、各会場で14の分科会が開催され、どれも立ち見が出るほどの盛況でした。特に、元DeNA監督の中畑清さんの講演では、野球の話だけでなく、人を育てる話、失敗を恐れず何事にもチャレンジするなど、大変貴重な話でした。25年ぶりの地元開催は大成功で終わることができました。

〈中外製薬(株) 赤塚〉

◆緑十字賞おめでとうございます◆ 河西工業(株) 総務部安全環境課 熊谷 健氏が受賞



日産自動車(株)にて、1983年から約32年間にわたり、従業員の安全管理、衛生管理、健康管理、作業管理、作業環境管理、交通安全管理全般について従事され、その間、労働災害防止のため統一した安全チェックシートを定め、定量的に現場を評価できるツールを構築し労働災害の減少に貢献されました。

更には、横浜工場、座間事業所、本社の安全健康管理の課長を歴任し、前記に加え過重労働管理やメンタルヘルス活動等幅広い業務に従事されました。また、その間神奈川労働局労働災害指導員として、中小企業の安全管理水準の向上に貢献され、加えて、中央労働災害防止協会の「ひろば」(月刊誌)の編集委員を6年間歴任されました。

2015年河西工業(株)に出向、転籍した以降も、日産自動車ですごした経験を活かし安全環境課の課長として手腕を発揮され、安全衛生管理の第一人者として安全衛生管理活動全般の基盤作りを手掛けられました。

また、(公社)神奈川労務安全衛生協会の本部・支部において委員会委員長や理事等の要職を歴任されました。現職は河西工業(株)総務部安全環境課 課長。

〔新規入会員紹介〕

水ingAM(スイングエーエム)株式会社 武田湘南管理事務所

藤沢市村岡東2-26-1

●赤松労働安全コンサルタント事務所

横浜市旭区南希望ヶ丘43-11

〔編集後記〕

平成最後となった支部報新春号の発行を終え、個人的にはあるが、改めて“平成”の31年間を振り返ってみた。31年前、当時の内閣官房長官が“平成”と書かれた和紙を“ヘイセイ”と言って掲げたシーンをTV放映でみていた私は、“これが時代が変わる瞬間か”と感動したことを今でも覚えている。恐らく、多くの支部会員の皆様も記憶されていること

でしょう。昭和までは、このようなかたちで瞬間に世間へ元号の変わる瞬間が伝わることはなかったであろうと思えば、情報の伝達が素早くされることの重要さを感じる。そう思うと、人生で2度も元号が変わる歴史的瞬間にいられることは大きな感動である。皆様は、新元号をどのような想いで感じるでしょうか。〈デンカ(株)大船工場 森〉